

政策4 快適で安心・安全なまち

- 4-1 豊かな住環境の整備
- 4-2 バランスのある土地利用の推進
- 4-3 環境に優しいまちづくり
- 4-4 道路、上・下水道、河川の整備
- 4-5 防犯・交通・消費者対策の強化
- 4-6 消防・防災の充実

4-1 豊かな住環境の整備



施策の目指す姿 (施策の方向性)

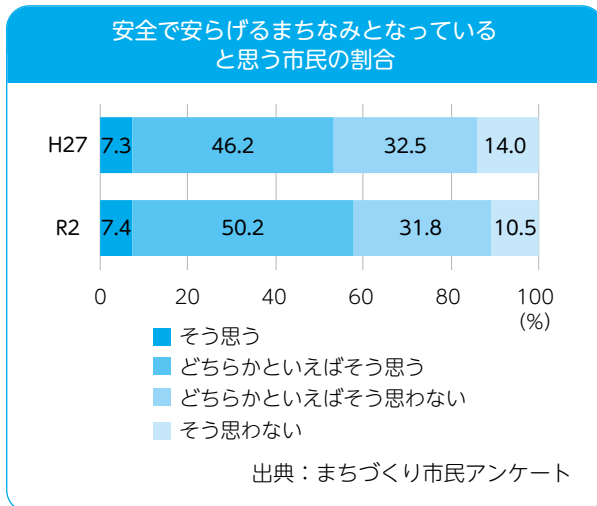
安全で安らげるまちとするため、公園や緑地の整備と適切な管理、良好な住環境の形成、環境負荷の少ない住宅建設を推進するとともに、空き家対策や多様な住宅ニーズに合わせた支援等に努めます。また、鉄道の利便性の向上や、交通弱者の移動手段としての市内公共交通の確保を図ります。

成果指標

指標名	区分	現状値	目標値	ねらい
安全で安らげるまちなみとなっていると思う市民の割合	成果	57.6%	60.3%	豊かな住環境を整備すること。

施策を取り巻く環境変化と課題

- 令和元年度に策定した北本市都市計画マスタープランでは、雑木林、谷津等の豊富な自然環境や大宮台地の良好な地盤を生かした災害に強い住宅地を形成するとともに、自然環境を市民共有の財産・まちづくりの資源として、整備・保全に取り組んでいくこととしています。
- 本市の人口1人当たり都市公園面積は令和2年度には10.5㎡であり、近隣市と比較して自然環境は豊富といえますが、徐々に市街地における雑木林や農地が減少していることから、自然の景観や環境への配慮が必要です。
- 地区の特性に応じた良好な住環境の形成を図るため、地区計画制度により、公共施設だけでなく、民間の開発においても住環境および景観の形成への配慮が必要です。また、民間の開発事業に対して、要綱に基づく指導を行い、良好な住環境を形成する必要があります。
- 地球環境に優しい住環境形成の観点から、環境負荷の少ない住まいづくりが望まれているほか、災害に強いまちづくりにより安心して暮らせるよう、建築物の耐震化を図る必要があります。
- 高齢化の進展等に伴い空き家が増加し、倒壊、犯罪の誘発等により防災性や防犯性が低下する懸念があるため、リフォームや建替えにより若者の移住・定住の受け皿とする等、有効活用が求められています。
- 久保特定土地区画整理事業区域内に、デーノタメ遺跡や希少野生動植物のオオタカの生息が確認されています。同事業と遺跡との共存や自然環境の保全対策が求められています。
- 住宅と、日常生活に必要な公共施設、商業施設および医療機関等をつなぐ機能として、鉄道や路線バス等の公共交通の活用策を充実する必要があります。



施策内の計画

- 北本市都市計画マスタープラン [R2～]
- 北本市緑の基本計画 [H29～R10]
- 北本市住宅・建築物耐震改修促進計画 [R3～R7]
- 第二次北本市環境基本計画 [H28～R7]

基本事業

4-1-1 **重点**
公園の整備充実と
緑地の保全

公園が整備されて適切な維持管理が行われ、緑地が保全されています。
主な取組・・・公園施設の長寿命化、公園施設の巡回管理、道路空間の緑化

指標名	区分	現状値	目標値
市民一人当たりの都市公園面積	成果比較	10.5㎡	11.5㎡

4-1-2 **重点**
良好な住環境および
景観の誘導

公共施設だけでなく、民間の開発においても良好な住環境および景観の形成への配慮がされています。

主な取組・・・空き家対策・利活用、中古住宅流通・利用促進、用途地域の見直し、開発行為等に対する指導

指標名	区分	現状値	目標値
特定空家数	成果比較	0件	0件

4-1-3
安全で環境負荷の
少ない住宅への支援

安全で環境負荷の少ない快適な住まいづくりが推進されています。

主な取組・・・住宅耐震化の促進、省エネ住宅の認定

指標名	区分	現状値	目標値
住宅の耐震化率	成果基準値	91.4%	95.0%
省エネ認定住宅率	成果	21.4%	20.0%

4-1-4
土地区画整理事業の
推進

健全かつ良好な住宅市街地が形成されています。

主な取組・・・事業計画の変更、家屋移転補償、街路築造工事

指標名	区分	現状値	目標値
久保特定土地区画整理事業の進捗率	成果	44.1%	100%

4-1-5
鉄道輸送力の活用

鉄道の利便性が高く、多くの方が利用しています。

主な取組・・・高崎線沿線地域活力維持向上推進協議会への参加、要望活動

指標名	区分	現状値	目標値
人口に対する1日当たりの北本駅利用者割合	成果比較	21.3%	21.3%
北本駅の平日の運行本数	成果比較	224本	224本

4-1-6
市内公共交通の確保

市内の交通手段が確保され、円滑に移動できます。

主な取組・・・路線バス利便性の向上、デマンドバスの運行、公共交通ネットワークの形成

指標名	区分	現状値	目標値
デマンドバス利用数	成果	20,033件	27,000件/年

I
序
論

Ⅱ
後
期
基
本
計
画

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

政
策
6

政
策
7

第2期北本市
まち・心・しごと
創生総合戦略

資
料
編

4-2 バランスのある土地利用の推進



施策の目指す姿 (施策の方向性)

首都圏中央連絡自動車道の埼玉県内区間の全線開通や上尾道路Ⅱ期区間の事業化、高速埼玉中央道路の計画による優位性を生かした土地利用を進めるとともに、農地の生産性を維持するため、優良農地の保全に努めます。また、北本駅周辺の商業・業務地の集積を図るとともに、南部地域での開発等を誘導し、交通・交流拠点（駅等の可能性）について検討します。

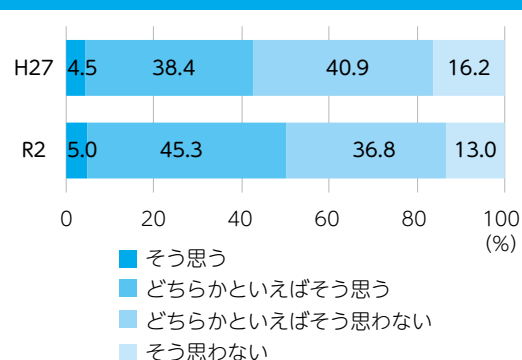
成果指標

※この施策は、基本事業の取組を通して、土地利用構想に基づくゾーン別の土地利用についてそれぞれ取り組むことにより目指す姿の実現を図っていくため、施策における総合的な成果指標は設定していません。

施策を取り巻く環境変化と課題

- 令和元年度に策定した北本市都市計画マスタープランでは、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方に立ち、コンパクトかつ利便性の高いまちづくりを行うため、徒歩圏に日常の買い物ができる店舗等を誘導するとともに、公共交通の利便性の高い都市形成を行うこととしています。
- 優良農地を保全し、農地の生産性を維持・向上する必要があります。
- 空き店舗等を有効活用し、生活機能の強化や中心市街地の活性化に取り組むとともに、南部地域において商業・業務地等の更なる機能を形成することが必要です。
- 首都圏中央連絡自動車道や一般国道17号上尾道路Ⅱ期区間の事業化に伴い、土地利用構想図に位置づける複合的開発ゾーンや沿道サービスゾーンにおいて、広域的な視点に立った活用方法を検討する必要があります。

農住工商バランスの取れた、安全・快適・活力を備えた土地利用がされていると思う市民の割合



出典：まちづくり市民アンケート

施策内の計画

北本市都市計画マスタープラン [R2~]
北本市産業振興ビジョン [R1~R8]

基本事業

4-2-1
優良農地の保全

生産性の高い農地面積が維持されています。
 主な取組・・・農地の利用集積、農業・農村の多面的機能の維持・発揮に向けた保全活動の支援

指標名	区分	現状値	目標値
耕作放棄地率	成果	3.72%	3.70%
利用権設定面積	成果	55.2 ha	79.0 ha

4-2-2 **重点**
商業・業務地等の整備

商業・業務地の集積により市民の利便性が向上します。
 主な取組・・・商業・業務地の集積、空き店舗対策、用途地域の見直し、駅等の可能性を含めた交通・交流拠点の検討

指標名	区分	現状値	目標値
中心市街地における空き店舗数	成果	43軒	↓

4-2-3
沿道サービス施設の誘導

沿道サービス施設が増加し、市内での消費が拡大します。
 主な取組・・・一般国道 17 号、南大通り、上尾道路（上尾バイパス）、中央通線、西中央通線および旧中山道の沿道における商業施設の誘導

指標名	区分	現状値	目標値
一般国道 17 号、南大通りおよび上尾道路（上尾バイパス）沿道における開発件数	成果	0件	2件/年

4-2-4
住宅供給の促進

土地利用構想に沿って住宅エリアへの住宅供給が促進されています。
 主な取組・・・住宅エリアへの開発誘導

指標名	区分	現状値	目標値
市街化区域における人口の割合	成果	77.6% (R1)	77.6%

I
序
論

Ⅱ
後
期
基
本
計
画

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

政
策
6

政
策
7

第2期北本市
まち・心・しごと
創生総合戦略

資
料
編

4-3 環境に優しいまちづくり



施策の目指す姿 (施策の方向性)

環境への負荷を軽減し、地球に優しい生活を実現するため、エネルギーを大切に利用することや4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）の推進によるごみの減量を図るとともに、合併処理浄化槽の設置促進による水質汚濁の防止に努めます。また、新たなごみ処理施設の稼働を目指し、新たな広域処理体制の構築を進めます。

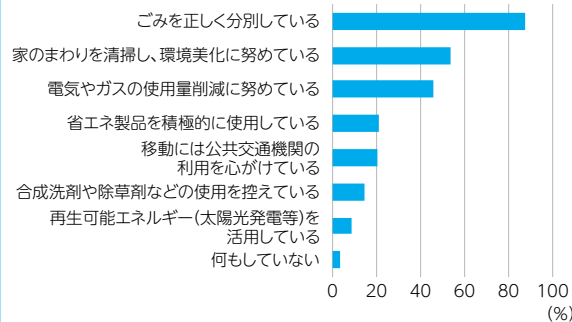
成果指標

指標名	区分	現状値	目標値	ねらい
温室効果ガスの総排出量 (市全体)	成果	272,000t-	246,500t- CO ₂ / 年	温室効果ガスの排出を低減し、 2050年カーボンニュートラル* の実現を目指していくこと。
	比較	CO ₂		
	基準値	(H30)		

施策を取り巻く環境変化と課題

- 空気や水をきれいにし、湧水や湿地等の水辺環境や多様な動植物の生育・生育環境を育んできた屋敷林・農地・雑木林・谷津等の身近に存在する豊かな自然が、市民の暮らしに安らぎと潤いをもたらしてきたことから、大切な財産として後世に残す必要があります。
- 国が、2019年6月に「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」を閣議決定し、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル*」を宣言したことに伴い、地方公共団体においても、ゼロカーボンへ向けて、再生エネルギーを活用することや自立・分散型のエネルギー社会を形成していくことが求められています。
- 令和3年9月16日に、本市、鴻巣市、吉見町の2市1町で、「新たなごみ処理施設の整備促進に関する基本合意書」を締結しました。今後、埼玉中部環境保全組合が主体となって、ごみの安全かつ安定的な処理、適切な環境保全やエネルギーの有効利用に配慮した施設の整備を進めていく必要があります。
- 市民一人1日当たりのごみ排出量は比較的低く抑えられ、リサイクル率は高い水準となっていることから、今後も4Rの推進によるごみの減量を図っていくことが重要です。

地球環境保全のために実施していること



出典：まちづくり市民アンケート (R2)

施策内の計画

第二次北本市環境基本計画 [H28～R7]

第4次北本市地球温暖化対策実行計画 [R1～R5]

北本市一般廃棄物処理基本計画(第4次計画) [H28～R7]

基本事業

4-3-1 脱炭素社会・循環型社会に向けた取組の推進

重点

2050年カーボンニュートラル*の実現に向けて、再エネ利用や資源循環が進んでいます。

主な取組・・・省エネ対策の促進、再生可能エネルギー導入支援、4R推進に向けた啓発、容器包装類・廃食油の回収

指標名	区分	現状値	目標値
市役所の温室効果ガス排出量	成果比較	3,539 t-CO ₂	3,286 t-CO ₂ /年
再生可能エネルギーの普及率	成果比較	4.1% (R1)	9.3%

4-3-2 廃棄物の適正な処理の確保

ごみが適切に処理されています。

主な取組・・・新ごみ処理施設建設の推進、資源回収の推進

指標名	区分	現状値	目標値
市民一人1日当たりのごみ排出量	成果比較	785 g (R1)	779 g
排出したごみの処理率	成果	100%	100%

4-3-3 環境衛生の推進

・快適な生活環境が維持されています。
 ・浄化槽放流水や単独処理浄化槽使用世帯の生活雑排水による水路や側溝の水質汚染および悪臭が減少しています。
 主な取組・・・適切なおみ・し尿処理の推進、環境測定調査の実施、合併処理浄化槽の設置促進、浄化槽の適正管理

指標名	区分	現状値	目標値
合併処理浄化槽設置比率	成果	37.5%	100%

I 序論

II 後期基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

第2期北本市
まち・心・しごと
創生総合戦略

資料編

4-4 道路、上・下水道、河川の整備



施策の目指す姿 (施策の方向性)

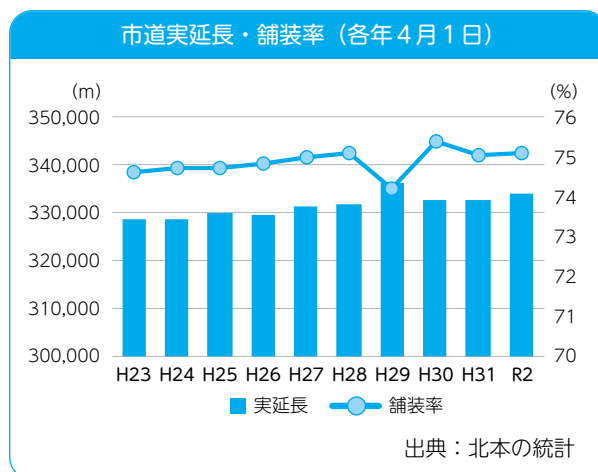
安全で利便性の高い都市基盤をつくるため、都市計画道路や生活道路の整備と維持管理に努めるとともに、安全で安定した水の供給や公共下水道の整備と適切な管理により、清潔で快適な生活環境の確保に努めます。また、水路や河川の整備や適切な管理により、浸水対策を進めます。

成果指標

指標名	区分	現状値	目標値	ねらい
道路、上・下水道、河川の整備不良により発生した人身・物損の事故件数	成果	1件	0件/年	都市基盤を適切に整備することで、安全な生活環境をつくること。

施策を取り巻く環境変化と課題

- 首都圏中央連絡自動車道や一般国道17号上尾道路Ⅱ期区間の事業化等の大規模道路整備に伴い、生活道路や都市計画道路の整備を進めていくとともに、適切に改修を行っていくことが必要となっています。
- 国土強靱化の取組を通して、大規模または局所的な自然災害に対し、道路、上・下水道等の社会インフラが機能不全に陥らないように、リスクマネジメントを行うことが求められています。



施策内の計画 | 北本市都市計画マスタープラン [R2~]

基本事業

4-4-1 **重点**
生活道路の整備充実

安全な道路環境の創出のため、舗装や側溝の整備充実が図られています。
主な取組・・・道路新設改良、道路舗装改修、道路環境の維持管理

指標名	区分	現状値	目標値
生活道路の改良率	成果	64.1%	64.5%
生活道路の舗装率	成果	75.5%	76.3%
地区要望への対応率	成果	48.0%	100%

4-4-2
都市計画道路の
整備促進

計画決定されている都市計画道路の整備が進んでいます。
主な取組・・・中央通線および西仲通線の整備推進

指標名	区分	現状値	目標値
整備済み区間の延長	成果	11.35km	11.65km

4-4-3
公共下水道（污水）の
整備

公共下水道（污水）が整備され、清潔で快適な生活環境が確保されています。
主な取組・・・公共下水道（污水）の敷設・維持管理、流域下水道に対する負担

指標名	区分	現状値	目標値
公共下水道整備率	成果 比較	84.9%	93.7%
水洗化率	成果 比較	99.6%	99.8%
マンホール耐震化数	成果	5基	76基

4-4-4
雨水排水施設の
整備充実

雨水管や水路・河川が整備され、浸水対策が進んでいます。
主な取組・・・公共下水道（雨水）の整備・維持管理、河川の維持管理

指標名	区分	現状値	目標値
床上、床下浸水戸数	成果	0戸	0戸／年
冠水による生活道路の通行止め数	成果	0件	0件／年

I
序
論

Ⅱ
後
期
基
本
計
画

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

政
策
6

政
策
7

第2期北本市
まち・心・しごと
創生総合戦略

資
料
編

4-5 防犯・交通・消費者対策の強化



施策の目指す姿 (施策の方向性)

安全・安心なまちづくりのために、犯罪を未然に防ぐ意識を高める活動や防犯施設の充実に努めます。交通事故が減少するよう、交通安全施設を整備するとともに、高齢者や子どもの交通安全教育を推進します。また、消費者教育や啓発に努めるとともに、トラブルに遭ったときの解決への支援体制の強化を図ります。

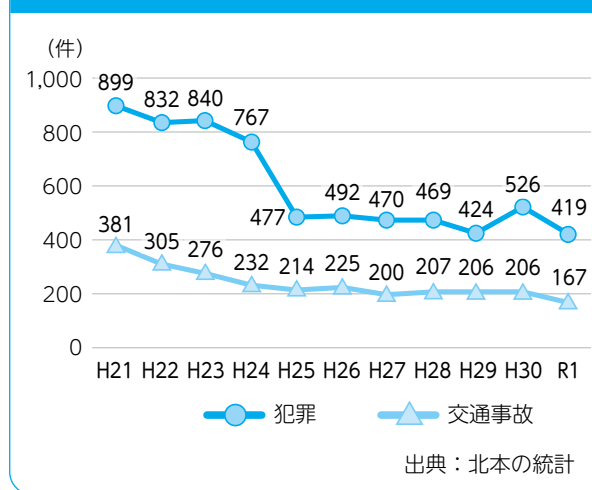
成果指標

指標名	区分	現状値	目標値	ねらい
人口千人当たりの犯罪件数	成果比較	5.34 件	5.00 件/年	犯罪を減らすこと。
人口千人当たりの交通事故件数	成果比較	2.00 件	1.70 件/年	交通事故を減らすこと。

施策を取り巻く環境変化と課題

- 犯罪件数は平成 15 年の 1,622 件をピークに減少していて、令和元年には 419 件となり、ピーク時の 4 分の 1 程度まで減少しています。
- 市民の安全・安心なまちづくりのためには、犯罪を起こさせない環境づくりが重要です。そのため、地域において自主防犯組織を組織して、防犯に対する意識を高め、自主的な防犯活動への参加や犯罪の未然防止を図る必要があります。
- 本計画の策定に当たり、令和元年度に実施した「市民意識調査」では、30 歳代、40 歳代において、最も重要な施策として「防犯・交通・消費者対策の強化」が挙げられています。
- 自動車の安全装置技術の発達・普及等に伴い、本市の交通事故の発生件数および死傷者数は、平成 21 年の 381 件、367 人から、令和元年には 167 件、198 人と 10 年間でおよそ半減しています。
- 近年増加する特殊詐欺により、現金やキャッシュカードをだまし取られる被害や、インターネットを通じた個人売買によるトラブル等の防止に向けた対策の充実が求められています。

市内犯罪・交通事故発生件数



基本事業

4-5-1
防犯・交通安全意識の高揚

- ・ 犯罪に遭わないように自衛や未然防止の意識が高まっています。
 - ・ 交通事故が減少するよう、市民が意識して行動しています。
- 主な取組・・・警戒情報の作成・発信、防犯講話の開催、警察等との連携によるキャンペーンの実施、交通安全意識の啓発、交通安全推進団体の活動支援、交通災害共済への加入促進

指標名	区分	現状値	目標値
防犯対策の平均実践項目数(全6項目)	成果	0.92項目	1.00項目/年
地域防犯団体を組織している割合	成果比較	76.6%	80.0%
交通安全教室参加者数	成果	834人	1,900人/年
65歳以上高齢者の交通事故件数	成果比較	38件	30件/年

4-5-2
防犯環境・交通安全施設の整備充実

- ・ 防犯対策や交通安全対策が充実しています。
 - ・ カーブミラーやLED信号機、ゾーン30等の交通安全施設等が十分に整備されています。
- 主な取組・・・防犯協会の活動支援、防犯灯の整備促進、カーブミラー・道路反射鏡・防護柵の設置、道路区画線の塗布

指標名	区分	現状値	目標値
防犯設備(防犯カメラ等)の整備件数	成果	6件	8件
交通安全施設の整備項目数	成果	73項目	58項目/年

4-5-3
安全な消費生活の確保

消費者トラブルに遭わないようにするとともに、遭ったときには解決への支援を受けることができます。

- 主な取組・・・民生委員・児童委員や見守り協力員等による声かけ・啓発活動、専門相談員による消費生活相談の実施

指標名	区分	現状値	目標値
北本市消費生活センター相談解決処理の割合	成果	97.2%	100%

I
序
論

Ⅱ
後
期
基
本
計
画

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

政
策
6

政
策
7

第2期北本市
まち・心・しごと
創生総合戦略

資
料
編

4-6 消防・防災の充実



施策の目指す姿 (施策の方向性)

安心で災害に強いまちとなるよう、災害時に適切な支援や情報提供を行うとともに、防災施設の充実と支援体制の整備に努めます。また、地域で適切な対応ができるようにするため、自主防災活動の促進や啓発に努め、消防団体制の充実を図ります。

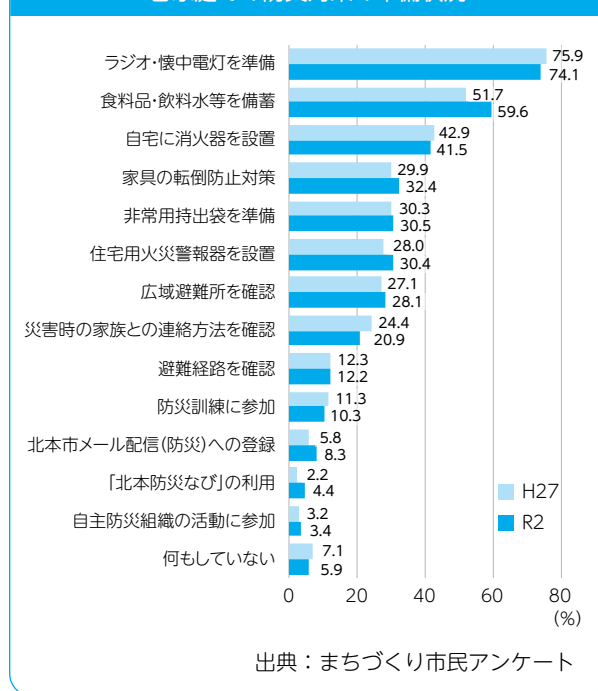
成果指標

指標名	区分	現状値	目標値	ねらい
災害による負傷者数および死亡者数	成果比較	0人	0人/年	災害による負傷者および死亡者をゼロにすること。
火災による負傷者数および死亡者数	成果比較	1人	0人/年	火災による負傷者および死亡者をゼロにすること。

施策を取り巻く環境変化と課題

- 東日本大震災の発生以降も、全国各地において大規模地震や大型台風、集中豪雨等の自然災害による甚大な被害が発生しています。こうした度重なる被害等により、防災に対する意識の高まりや自助・共助の重要性について再認識されています。
- 防災や災害発生に関する情報が市民に適切に届く仕組みとして、ICT*やIoT*等の技術の活用が求められています。
- 本市は、災害リスクの低い土地ですが、災害時において地域や個人が災害に対応できるよう、地域の防災力向上が求められます。
- 北本市地域防災計画に基づき、災害応急対策や災害復旧復興に至る一連の災害対策について、準備を進めてきました。
- 国土強靱化の取組として、大規模な災害等が発生しても、行政や地域社会、地域経済が機能不全に陥らずに、維持することのできる対策を推進していくことが求められています。

各家庭での防災対策の準備状況



施策内の計画

北本市地域防災計画 [S50～(H29改定)]
北本市国土強靱化地域計画 [R4～]

基本事業

4-6-1
防災減災意識の高揚

防災・減災の意識が高まり、災害時に行動できます。
主な取組・・・ハザードマップの周知、防災訓練の実施、自主防災活動の促進

指標名	区分	現状値	目標値
防災対策の平均準備項目数 (地震に関する5項目)	成果	1.36項目	➔

4-6-2
災害時の支援体制の充実

・防災に関する情報が市民に届く仕組みが機能しています。
・災害時の支援体制が整っています。
主な取組・・・福祉避難所の充実、備蓄品の充実、企業との災害時相互協力、ボランティア受入体制の整備、避難所における感染症対策

指標名	区分	現状値	目標値
北本市からの防災通知の登録件数	成果	19,027件	➔
防災に関する協定件数	成果	50件	55件
主要備蓄用品(3品目)の備蓄率 ※3品目一水・食料・毛布	成果	48.0%	90.0%

4-6-3
地域防災力の向上

災害時に地域や個人で対応できる防災力が向上しています。
主な取組・・・自主防災組織の設立支援、地区防災訓練の実施支援、自主防災組織リーダー・ボランティアコーディネーターの育成

指標名	区分	現状値	目標値
自主防災組織の組織率	成果比較	68.9%	92.0%
防災訓練に参加した市民の割合	成果	10.1%	➔

4-6-4 **重点**
強靱な地域社会の構築

災害時でも地域社会が機能しています。
主な取組・・・北本市国土強靱化地域計画の推進

指標名	区分	現状値	目標値
北本市国土強靱化地域計画に掲げるKPI達成率	成果	—	➔

4-6-5
消防力の向上

消防活動が迅速に行われています。
主な取組・・・消防水利施設の整備、消防団活動の支援、消防団施設・設備の維持管理

指標名	区分	現状値	目標値
消防水利基準達成率	成果	57.8%	58.6%
消防団員定数充足率	成果	97.8%	100%

I
序
論

II
後
期
基
本
計
画

政
策
1

政
策
2

政
策
3

政
策
4

政
策
5

政
策
6

政
策
7

第2期北本市
まち・心・しごと
創生総合戦略

資
料
編